

狛総安発第 000354 号

令和 6 年 12 月 27 日

原発と気候危機を考える会

西尾 真人 様

狛江市長

松原 俊雄



「防災フェアでの自衛隊による“戦争体験”に抗議し、今後の市の行事に自衛隊を参加させないよう求めます」に対する回答について

令和 6 年 12 月 17 日付けで提出のありました「防災フェアでの自衛隊による“戦争体験”に抗議し、今後の市の行事に自衛隊を参加させないよう求めます」について、別紙のとおり回答いたします。

今年度の狛江市総合防災訓練は、1月に発生した能登半島地震等によって高まっている市民の防災意識を具体的な防災行動に繋げるため、体験型コンテンツを数多く取り入れ、「防災フェア」と称してイベント形式で実施しました。

今回は、従来の避難所運営訓練等で訓練主体になりにくかった子育て世代をメインターゲットとし、市民が防災に触れるきっかけを提供することを意識しながら企画するとともに、一人ひとりの自助に関する基礎的な知識・経験の習得促進を主な目的としました。

防災訓練等における関係機関に参加いただく目的は、まず、狛江市で大きな災害が発生したときに、各関係機関がどのように動き、どのような形で狛江市と連携するのか、各機関の役割や市へ支援いただく内容等をわかりやすくお伝えする場と考え、毎回のテーマに基づき、市から参加依頼を行っています。

あわせて、各関係機関がどのような業務を所掌し、普段はどのような活動を行っているのか等を市民の皆様にもPRいただく機会でもあると捉えていますので、防災と直接関連しない内容が含まれ得ることも想定しているところです。

今後も防災訓練など市の防災事業については、各防災関係機関に様々な形で参加のご協力をお願いしたいと考えています。

その際は、訓練等の主眼である、自助や共助の強化につながるようなものを主として企画しますが、ご指摘の内容も含め、協力いただく内容については随時協議、調整しながら、市民の皆様の安心安全確保や狛江市の減災につなげられるよう進めます。